

# February

2018

## 21世紀型福音宣教の恵み

それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国々の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

(マタイの福音書 28章19、20節)

代表 エルサレム杉澤

皆さまの尊いお祈りとご献金を有難うございます。カンボジアチームが1月3日～5日の短期日程で現地スタッフ1名を含め総勢13名で派遣されました。全世界に孤児院の発展を主から語られているなかで重要な意味合いを持つチームとして派遣されました。

「礎の石孤児院カンボジア」は、国際NGOの孤児院として活動しています。また、孤児院の子どもたちは主の十字架クリスチャンセンター東京アンテオケ教会のインターネット礼拝会員となって、母教会のカバリングを受けるなか、着実に信仰の変化や成長があり、日々、霊的、实际的に逞ましくなっています。

昼は大型ショッピングモールでチームのメンバーとボーリングで楽しんだり、孤児院でバーベキューを行うなど、思い出に残る楽しいひと時を過ごしていました。また、今回も先回のチームと同様にチームのメンバーからカメラの使い方や映像の撮り方を教わったり、作詞・作曲のセミナーなども行われ、子どもたちの生き生きとした笑顔が印象的でした。

夜の聖会では、前回と同様、一人の洗礼式が行われました。定期的にチームが派遣されるようになってから毎回、必ず受洗者が与えられています。子どもたちが日本語のオリジナルゴスペル曲を日本語で賛美したり、チームのメンバーからキーボードを習っている子どもたちが特別賛美の伴奏に加わるなど、教会のカバリングを受けている恵みと祝福が豊かに現されていました。

インターネットの世界的な著しい普及に伴い、宣教の働きが明らかに大きく変わる時代のなかにあります。教会のカバリングをインターネットで行うことが可能な時代になりました。徹底して主に祈り聞き従い、更にインターネットを神の武器として用いて、後の雨のリバイバルの働きの全うに向けて邁進し、歩む必要があります。

写真右：カンボジア聖会でメッセージ奉仕するパウロ秋元牧師

